

部 品

用 品

整 備

最新動向

# TECHNO テクノレーダー RADAR

39

## クリスタークォーツ

表面硬度の高さと親水性を兼ね備えたホイールコーティング登場!!



ホイールだけでなく、クルマのボディや建物の外壁、船舶、看板、電子機器など用途は幅広い。ホイールクリーニングセットは㈱バンザイが取扱っている。

### 施工手順

①まずは「鉄粉除去剤」を使うところから施工を始める。



②表面に油分が残るとコーティング剤が化学反応しない。



③専用クリーナーは、汚れを赤褐色に染めて浮き立たせる。



④水で汚れを洗い流したら、エアブローして表面の水分を飛ばす。



⑤コーティング剤をスプレーで塗布する。念のためローターには付着防止のカバーを被せたい。施工時間は1本約20分。チタンやマグネシウム製ホイールは施工できない。



### ■シリカ膜がブレーキダスト付着を防ぐ！

アルミホイールの新車標準装備の増加や根強いカスタマイズニーズなどに支えられ、足元の身だしなみを整える「ケア商品・サービス」に対する要請は以前よりも高まっている模様だ。

このような中、「ポリシラザン」と呼ばれる原材料を使用したコーティング剤『クリスタークォーツ』をホイールへ施工し、汚れや傷付き防止、防錆効果の高さをウリにホイールコーティングサービスを展開するディーラーや整備工場が増えているという。

クリスタークォーツは、AZエレクトロニックマテリアルズ(株)により製造される「パーヒドロポリシラザン(Perhydropolysilazane)」という独自物質が、大気中の水分と反応して「シリカガラス」に転化する性質を利用したコーティング剤で、ホイールへ吹付け塗布すると0.1～0.15 $\mu$ のシリカガラス膜が形成される。

その表面は「石英ガラス」(9H程度)並みの硬度を保ち、傷付きを防止する効果が高くなる。

またホイール表面の凹凸を埋める効果(平滑性)もあることから、汚れが入り込みにくくなる。そのため「親水性」の効果が高まり、雨に濡れただけで簡単にホイールの汚れが落ちるといえる。

なお、シリカガラス膜は自然界の石英ガラスと同様の性質を持つことから、廃棄しても無害で環境に対する影響がないのも大きな特徴だ。